

キャラクター名
綾涼 詩葉(あやすず しおり)

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス		ワークス	UGN支部長B	カヴァー	UGN支部長
	ソラリス					
オプション			年齢	28	性別	女性
覚醒	探求	衝動	闘争	初期侵食率	30	%
出自	名家の生まれ	経験	喪失	邂逅	恩人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	0	1			1	行動値	4
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	6	0	0			6	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	1	
運転:	2		芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
絶対+コンセ	交渉	6r		1		侵5。C8
絶対+コンセ+タブレット+多重生成	交渉	6r		1		侵10。C8
(100-)絶対+コンセ	交渉	6r		2		侵5。C7
(100-)絶対+コンセ+タブレット+多重生成	交渉	6r		2		侵10。C7

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
自動車	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
生還者	P	N		
霧谷雄吾	P 信頼	N 不安		
徒野 紫苑	P 庇護	N 憐憫		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 14 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセ:ソラリス	2	2	Maj	-	-	シンド		
効果: C値[-Lv](7まで)								
絶対の恐怖	1	3	Maj	視界	-	交渉		
効果: 射撃。攻撃力: +Lv、装甲無視								
タブレット	5	2	Auto	視界	単体	自動		
効果: Lv回/シーン。射程: 視界に変更								
多重生成	2	3	Auto	至近	自身	自動	Lim	
効果: タブレットの対象を[Lv+1]体に変更								
活性の霧	6	3	SET	至近	単体	自動		
効果: R中、攻+[Lv×3]、ドッジ-2D。								
快樂の香氣	★	-	Maj	視界	シーン(選択)	自動	-	
効果: 快樂物質で引き寄せる、気絶させる								
竹馬の友	★	-	Maj	視界	単体	自動(交渉?)	-	
効果: 幻覚物質で信頼を得る								
麗しの容貌	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 最適な美容状況と健康状態を維持する								
隠し味	★	-	Maj	至近		自動	-	
効果: 食べ物を美味しくする								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「ないんでいるどー、て……それって玉藻はんやんかあ、えらいすぐったいなあ」

Dロイス: 生還者
「うち、なにに怒ってたんやっけ……」

鬱屈したエネルギーを毒として放出して戦うため、それが済んでしまうと、いつもに輪をかけてぼんやりおっとりになる。レネゲイドもその沈静化した感情に引っぱり張られて活動を止めてしまうようだ。

常時無自覚に甘ったるい香り(快樂の香氣・竹馬の友)を漂わせており、非オーヴァードに絶大な人気を誇る眼鏡のお姉さん。話好きで面倒見が良い……というか面倒を見てくれようとするのだが、だいたいどこか抜けているボンコツな人。覚醒前はそのボンコツさゆえ、相当に苦勞したらしいが、オーヴァードとなってからは、今までの苦勞を発散しているかのような苛烈過ぎる戦い方と、(多分に無自覚な)政治力・折衝能力により支部長に収まっている。特段、詩葉が指揮権を行使しているわけではないが、支部の士気の高さにより、気づくとタスクが片付いており、優良支部と認知されている。構成員曰く「なんか気付くと喜んで仕事しちゃうってんだよねあ」とのこと。お飾り支部長と言ってしまうとそれまでだが、「言うても書類仕事とか得意やなし、御神輿しくんもわるくないなあ」などと許容し始めた今日この頃。今日も現場を勞いに支部内を廻り、そしてまたファンが増えるのであった。なお、本当に暇なときは本を読んだりお茶を点てたりしている。

昔から人を惹く存在であったが、惹いた人の扱いがわからず失敗がち。特に悲惨であったのは会社勤めをしていた時の話。気の置けない友人がいた。友人の恋人、詩葉の恋人も一緒に、4人で遊びに出かけるような仲であった。友人の恋人の恋の悩みを、詩葉が聴いたりしていたのだ